

# お世話になります工房西ふじです 2018 夏号

お世話になります。毎度まいど工房西ふじです。

先日、愛犬のロックを連れて田貫湖周辺を歩きに行ってきました。出かけたのは午後3時を過ぎていたのですが、午前中がすきりしない天気だ、たため普段だと観光客やキャンパーなどで賑わっているであろう湖畔は、ひと氣もまばらで閑散としており、犬の散歩にはもってこいでした。歩き始めてすぐにハラナ釣りをしている人を見かけ、暫くその様子を見ていたのですが、「釣りはハラナに始まりハラナに終わる」と言った言葉があるように、ハラナ釣りはとても繊細で奥が深い釣りです。ハラナ釣りの大会では、いわゆるビギナースラックは決して存在しないと言われる程、釣果に腕前がはっきり出るそうです。自分も釣り大好き人間ですので、いつかはハラナ釣りを始めて、この釣りで釣り人生の終止符を打とうかと思っていますが…そんな事を考えながら湖畔を一周、ついでに小田貫湿原まで歩き、私もロックもタタタタ。わずかな時間でしたが気分転換もできた良い休日になりました。

さてさて工房西ふじですが、相変わらず忙しく仕事をさせてもらっています。気が付けば創業15年を超えついでに年齢も51歳を超え、気力も体力も限界を超え…なんてことはありません!!まだまだ元気!!若いもんにゃーまだまだ負けんよ!!(ってちょっと無理してない?)まあ確かに空元気なところもありますが、気持ちと栄養ドリンクで頑張っています。北朝鮮とアメリカがにらみ合っていたかと思えば、肩を組んでいたりの訳の解らない世界だったり、国内では耳を疑うような事件ばかりで、ちょっと日本大丈夫?って感じですが、こちらは元気に明るく行きましょう。そんなこんなで2018年夏号の始まりです。

前号の「特集・シニア時代突入に向けた工房西ふじからの提案」の続き…

前回の特集記事にさせてもらったスマートライフ住宅や最期まで家でをコンセプトにした終身介護対応住宅の補足提案をしたいと思います。世の中の、特に年齢に関する社会形態の変化については前回の記事でも詳しく書かせていただいた通りですが、近い将来、右見ても左見ても年寄りばかり、なんてことはけして言い過ぎではないくらいの時代がもう、そこまで来ているのは現実です。そんな中でも介護施設の不足や、子供が一緒に住まない問題など、老人を取巻く環境は一層厳しさを増すばかりです。先日、国の調査で、「親の介護は誰が見る?」の結果は、その昔は息子の嫁が一番だったのが、現在それは下位の方となり、上位に食い込んできたのはなんと「息子介護」。定年を迎えた息子がその奥さんに代わって実の親の面倒を見る、なんて事が増えているそうです。理由は、その奥さんにも親がいて、どちらの世話をいい、悪いになってしまっているのだそうです。このように高齢化社会に向けて、時代がどんどん変化していくのが現実なんですね。それでもまだ「子供が」みたいな期待を持つてるのはいいのですが、実際それも難しいという方は相応いるのではないかでしょうか。そんな中、現在当社においてより良いスマートライフ住宅の提供がで

きるよう、日々勉強しているのですが、先日お客様から貴重なご意見をいただきました。介護住宅と言うと、広いトイレに広い廊下、そして広い開口幅、なんてイメージが強いのですが、確かにそういう環境が介護に良い状況は多々あるとは思いますが、まだそこまでいっていない方、例えば、足腰は弱ってきていてもなんとか自分で歩ける方や、片方の手足は不自由でも反対はまだまだ大丈夫みたいな方にとては逆に広すぎてしまい危ないと言うのです。よろけて転びそうになる前に壁や手摺に撞まることのできるような狭い空間の方が本人にとっては住みやか使いやすいのだそうです。その言葉を聞いた時に、自分が持っていた固定観念が音を立て崩壊していました。でも、その考え方には住む方の身体の状況によって変わるものだと思います。広いだけでも狭いだけでも、広さもあり、狭さもある空間、もと言えば広くもない、狭くもなる空間を提供することがこれから工房西ふじが考えていかなければならぬ難いテーマであると思っています。皆さん、皆さんが感じたご意見をお聞かせ頂けると大変ありがたいです。

## 2. 最新現場ニュース

専他ご縁合できなかったお客様にも  
心から感謝です!ありがとうございます!!

**G様邸・和室改修工事** 鉄筋コンクリート住宅の二間続きの和室を洋室のリビングと寝室に改修しました。

収納たっぷりの快適空間に生まれ変わり、奥様の永年の夢が叶いました。



**I様邸・洗面所改修工事** 水漏れの激しかった古い洗面台をリニューアル。同時に傷みの激しい床のフックション

フロアや壁天井のクロスも貼り替え。建付けの悪かった浴室入口の折れ戸も取替えて、快適で美しい水廻り空間となほ。

**F様邸・外部改修工事** 古い建物の外部は傷みも激しく、この度外壁の塗り替え、樋の取替え、ベランダの木製デッキの改修を同時に行いました。経年劣化によるお客様の不安も一気に解消しました。

**S様邸・E様邸・宮クーポンを利用し床改修** 玄関ホールやダイニング、キッチンの床は永年の歩行でニックニヤ状態になっていました。この度富士宮市の補助金制度(宮クーポン)を申請し、同時に床の改修工事を行いました。抜け落ち寸前の床も丈夫に美しくなり、お客様もひと安心です。



**T様邸・浴室改修工事** 同じく宮クーポンを利用して浴室を改修しました。当社としても初めてのシステムバスからシステムバスへのリフォームでした。システムバスが登場して30年近くでしょうか。もう、そんな時代になったんですね。

**M店舗様・エスカレーム改修工事** 以前、調剤室だった薬局のひと部屋をエスカレームにリフォームしました。変形した細長い空間が素敵なアシメトリックな空間へと変身しました。これからこの部屋が素敵なお嬢さんのために活躍してくれると、とてもとても嬉しいです。

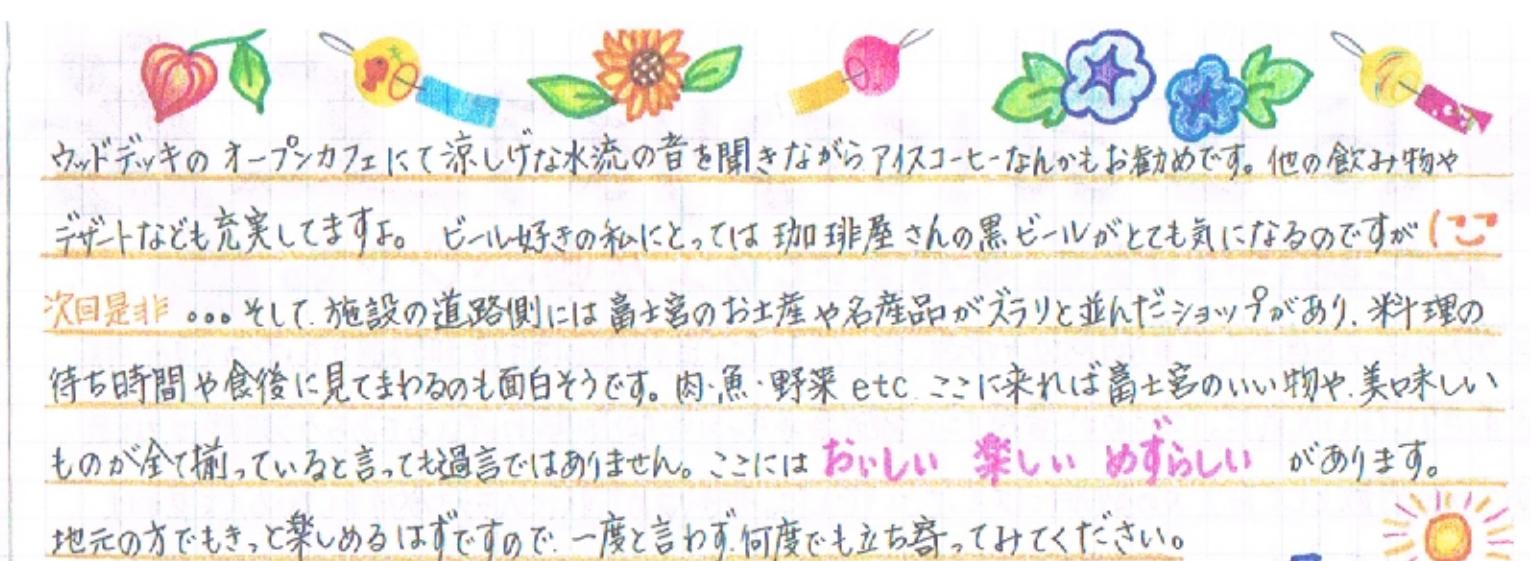


**F様倉庫外部改修工事** 富士市にあるF様倉庫。製紙会社の煙や海風による塩害で傷んだ屋根と外壁を改修しました。屋根は塗装や錆に強いガルバリウム鋼板で葺き替え、これでしばらくは安心です。

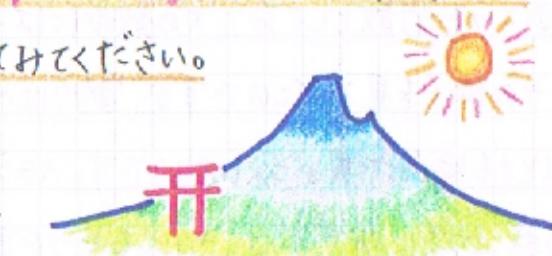
**富士山世界遺産センターの前に富士山神田川桑座がOPEN!!**

今年の2月23日「ふじさん」の日に「富士山神田川楽座」がオープンしました。場所は、昨年オープンした富士山世界遺産センターのほぼ真ん前で大月線を挟んだ南側。以前は靴屋から本屋になったり、ビデオ屋になったりした建物だ、て言えば大概の方はわかるでしょうか。どのような施設かと言いますと、中には様々なものを運んで食べられるフードコートと、富士宮市の名産品べづらりと並んだお土産を売るお店が入った複合施設です。工房西ふじも昨年末からオープンにかけて内外部の建築工事を請け負わせて頂き大変お世話になりました。寒い冬の超突貫工事で苦労も多い現場でしたが、施設に携わる多くの人の熱い想いと、多種多様にわたり業者の皆さんの頑張りで何とかオープンに間に合わせることができました。

この富士山神田川楽座は文字通り観光客が集めるだけではなく地元の人たちも気軽に立ち寄って楽しめる地域コミュニティの場所でもあるので今回詳しくご紹介したいと思います。先ず気になるフードコートですが向かって左側から「しらすのハ幡」さん「炭火焼 宝来家」さん「宮膳つにや」さん一番右側が「クレープほまれ」さん。その向かいにコーヒーショップ「SFJ COFFEE & ROASTERS」さん。しらすのハ幡さんはその文字通り新鮮なしらすを使ったしらす丼が看板メニュー。しらすはあの有名な富士の田子の浦の朝捕れしらすをふんだんに使用。その味と食感は絶品です。しかも驚くほどリーズナブル。他にも桜海老や生しらすを使ったりとも美味しいです。少し残してお茶漬けで食べるのもこれまた最高!!まだ食べたことない方は一度お試しあれですよ。隣には自慢のしらすが買える直売店も併設しています。炭火焼宝来家さんは富士宮駅前で焼き鳥店を経営していて、その美味しさは折り紙つき。私たち夫婦も宝来家さんの大ファンでよく利用させていただいています。何度行っても無性に食べたくなる美味しいで、この味が脳髄から味わえるなんてとても幸せな気分になります。神田川楽座限定メニューなどもあり朝霧ヨーグル豚(トン)を使用した炭火焼き豚丼などは子供から大人まで大満足の味。あと、焼き鳥ときたらビールが飲きたくなっちゃいますね。安心してください、飲み物のメニューも豊富に揃っていますよ。宮膳つにやさんはなんといっても全国区に有名な富士島やきそばが売り。家庭と違い、大きな鉄板で手際よく焼き上げたやきそばは程よいコシに仕上がり、肉かすとソースの香りが店内に充満し、食欲をそそります。クレープほまれさんは女性や子供に大人気のクレープ屋さん。食事の後や、3時のおやつに食べるクレープほまれません。男性の方でもクレープ好きの人は意外と多く、混雑時には行列になってしまいほどの人気です。「ちょっと甘いものでも」と思ったら一度立ち寄ってみてください。道路側に1店舗だけあるのがコーヒー専門店のSFJ COFFEE & ROASTERSさん。こだわりのコーヒー豆を使った本格的なコーヒー店で、店主は知る人ぞ知るあのten cafeのオーナー。SFJの意味は「サウスフジ情熱コーヒー」の頭文字なのだそうだから、その情熱のコーヒーを一度味わってみてください。食後に美味しいコーヒーを飲むも良し。これから季節などは、神田川沿いにある

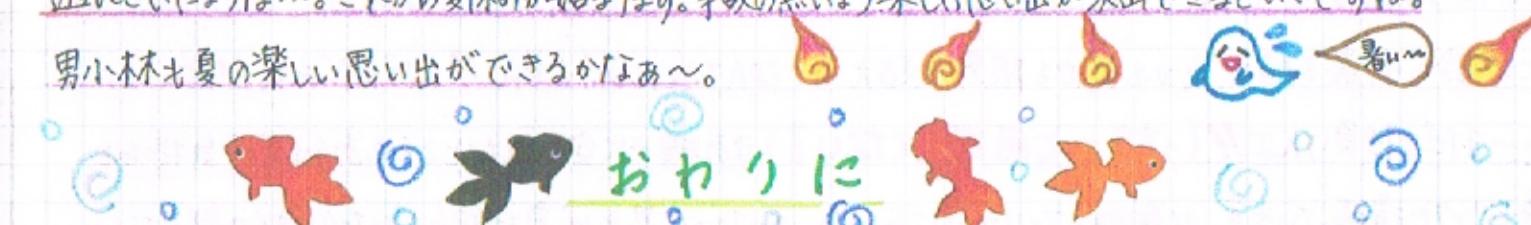


◎営業時間等、各店の詳細は、同封しましたパンフレットをご覧ください。



## 西ふじスタッフのひとり言

昭和だ、た小学生の頃、子ども会の活動も盛んで、その仲間たちと時間があれば毎日一緒に日が暮れるまで遊びに記憶があるなあ～。夏は暗くなつてから集まり（もちろん大人も）近所の墓地で肝試し!!本当に毎日で遊んでいたようだ…。これから夏休みが始まります。事故の無いよう楽しい思い出が沢山できるといいですね。  
男小林も夏の楽しい思い出ができるかなあ～。



さて、早いもので今年も上半期が終ってしまいました。今年の梅雨は特に西日本で豪雨災害をもたらし、被災地では大変なことがありますね。いつも思うのですが、静岡は特に目立った災害もなく、恵まれた土地ですね。これも富士山の恩恵なのでしょうか。ありがとうございます。ワールドカップサッカーでは下馬評の悪さを跳ね返して、日本も決勝トーナメント進出と盛り上がりを見せましたね。体格差でハデのある日本チームがあそこまで頑張ると、ちっちゃな男小林も少しだけ負けられますが（ちっちゃすぎだし・笑）。最近、私が住んでいる貴船区の区対抗野球チームに加入し、野球を頑張ります。自分の役割はなんと、「主将」と書いてキャプテン！！（よし！男小林！！）並外れた実力と秀でた野球センスを武器にチームを引っ張っている…訳ではありません。ただ単に年齢が上で言い出し、ペダルなんですが（なんだ、そんなの？！）練習の次の日は激しい筋肉痛と闘いながら（またもや、次の次の日、なんじゃないのよ～？！）頑張っていると言うより樂しいであります（モーザー樂しいのが1番！）今年も暑くなりやうですが、皆さん、しつこい夏風邪には注意して、元気にお過ご下さい。それでは冬号までごきげんよう。

